

議案第2号

平成29年度活動計画（案）について

いわて未来づくり機構 会則第7の3（1）により、平成29年度活動計画（案）について、次の通り承認を求める。

平成29年6月19日

平成29年度いわて未来づくり機構活動計画（案）

I 活動方針

東日本大震災津波からの復興の更なる展開への連結期間として、県民運動と部会活動等に取り組み、成果をあげることで、復興の先も見据えたふるさと振興の実現を図る。

II 活動計画

1 県民運動の推進

東日本大震災津波からの復興の更なる展開とその先も見据えたふるさと振興を実現するために、本機構会員及び県民が一体となって、県民運動に取り組む。

県民運動	目指す姿(最終目標)	平成29年度 機構の取組目標
I L Cの実現に向けた取組	<ul style="list-style-type: none">・ I L Cの実現・ I L Cを核とした国際学術研究都市の形成	<ul style="list-style-type: none">・ I L Cの意義の浸透と国の誘致表明への働きかけ・ 外国人研究者等の受入環境整備・ 加速器関連産業の集積・ I L Cの早期実現に資する調査研究の実施
いわて花巻空港への国際定期便の就航に向けた取組	<ul style="list-style-type: none">・ 定期便の就航・ 経済・文化等の交流の促進	<ul style="list-style-type: none">・ 台湾チャーター便の運航拡大・ 香港チャーター便の運航・ 海外市場への展開
世界遺産を活用した地域振興の取組	<ul style="list-style-type: none">・ 世界遺産の価値・理念の理解増進と将来世代への継承・ 世界遺産を活用した地域振興	<ul style="list-style-type: none">・ 世界遺産の価値・理念の発信と理解増進・ 拡張登録・新規登録に向けた活動の強化・ 複数の世界遺産を活用した県内外・海外からの観光誘客の促進
ラグビーワールドカップ2019™釜石開催に向けた取組	<ul style="list-style-type: none">・ ラグビーワールドカップ2019™釜石開催の成功・ 復興支援への感謝と復興の姿の国内外への発信	<ul style="list-style-type: none">・ 各種イベント、広報媒体等を活用した機運の醸成・ 大会開催に向けたインフラ等の整備・ 観客等を迎えるためのおもてなし体制の整備

2 各作業部会の活動

各作業部会は、いわての復興と未来づくりに向けた活動を行い、その結果をラウンドテーブル、会員及び県民にフィードバックする。

部会名【担当機関】	目標及び主な活動
医療福祉連携 【県立大】	重層的見守り実証試験を継続し、県内への波及を目指す ・外部資金を活用した実証実験の実施 ・産学官の検討体制の維持と普及活動の実施
かけ橋 【県】	復興支援プロジェクト「いわて三陸復興のかけ橋」の推進 ・復興支援マッチングの推進 ・復興関連情報の発信、復興支援ネットワークの強化
復興教育 【岩手大】	いわての復興教育プログラムの推進支援 ・復興教育の講師を派遣する「いわての師匠」派遣事業の推進
いわて復興未来塾 【県】	復興や地域づくりの担い手の育成及びネットワークづくりの推進 ・復興の担い手となる人づくりの観点から、いわて復興未来塾を開催
ふるさといわて創造 【岩手大】	地域を担う人材の育成と地元定着の推進支援 ・COC+事業「ふるさといわて創造プロジェクト」の推進支援
イノベーション推進(新規) 【県】	イノベーションに必要な関係機関のポテンシャルの分析 ・岩手県イノベーション創出推進会議と連携し検討

3 情報発信

活動をより効果的に展開していくため、積極的に情報発信を行う。

- ① 会員団体の総会等を利用した団体構成員等に対する機構の取組内容の周知
- ② 機構だより、電子メール等を利用した会員向け情報提供（随時）
- ③ 機構ホームページからの一般向け情報発信
- ④ 県民の理解増進を図るため、マスコミへの情報提供の強化

Ⅲ スケジュール

主要行事	概 要 (案)
総会 時期：6/19 15：00～16：30 場所：エスポワールいわて 議長：(共同代表) 谷村会長 進行：(岩銀) 岩田委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度活動実績の報告及び平成29年度活動計画の審議承認 ・講演「地方創生の現状と今後」 東京大学大学院法学政治学研究科教授 金井 利之 氏
第1回ラウンドテーブル 時期：6/19 16：35～17：40 進行：(岩大) 菅原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション「ふるさと振興について」 ※ 終了後交流会を開催
第2回ラウンドテーブル 時期：10～11月 会場：盛岡市内 進行：(県) 藤田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション (その時点における県政の重要課題に応じテーマを決定)
第3回ラウンドテーブル 時期：1～2月 会場：岩手銀行(仮) 進行：(岩銀) 岩田委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・機構の活動状況報告、総括 ・次年度の活動に向けた提言他 ・ディスカッション (その時点における県政の重要課題に応じテーマを決定)

『イノベーション推進作業部会』

【目的】

本県の各機関が持つポテンシャルを生かしイノベーション創出に向けた取組を強化するため、新しい価値を創造する場を設定し、イノベーションから継続的に価値を生み続ける芽が育成される環境（システム）整備に向けた検討を行う、「イノベーション推進作業部会」を設置する。

【体制】

（１）座長

岩手県政策地域部 理事兼科学 ILC 推進室長

（２）部会員

岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学、一関工業高等専門学校、科学技術振興機構、いわて産業振興センター、岩手県工業技術センター、岩手生物工学研究センター、岩手県商工労働観光部ものづくり自動車産業振興室、岩手県政策地域部科学 ILC 推進室

（３）事務局

岩手県政策地域部科学 ILC 推進室

【活動内容】

（１）岩手県におけるイノベーション推進の現状分析

・ 関係機関の活動内容の調査及び整理等

（２）岩手県が進めるべきイノベーションの方向性の検討

・ 検討会の開催（年２～３回程度を予定）

（３）イノベーションを推進するメイカームーブメント等プロセス革新や大型プロジェクトの創出、導入など必要な取組の検討

・ 関係機関の活動内容の調査及び整理等

【その他】

岩手県イノベーション創出推進会議と連携して活動する。